

委員会等活動実績の記録

【委員会名】 研究企画会議

年度	回	日時	主たる議事内容
29	第1回	平成29年5月1日(月)	1. UU-COE-Next審査ヒアリングについて 2. 日揮・実吉奨学会研究助成金推薦候補者の審査について 3. 平成29年度年度計画について 4. 國際的に著名な学術誌への論文掲載の年度集計について 5. 議長代理の選出について 6. 産学官連携・知的財産本部会議委員の選出について 7. イノベーションジャパン「組織展示」への出展について
	第2回	平成29年5月23日(火)	1. 異分野研究助成審査要領(案)について 2. 科研費プロジェクトの取組について 3. 平成30年度概算要求機能強化経費「機能強化促進分」について 4. 國際的に著名な学術誌への論文掲載の集計について 5. 研究設備整備に関するWGについて 6. 部局長研究戦略経費等による若手研究者支援について
	第3回	平成29年6月27日(火)	1. 異分野融合研究助成の審査について 2. 科研費プロジェクトの取組について 3. 平成30年度概算要求について 4. 戰略の進捗状況と指標の改善・見直しについて 5. 研究費の不正使用防止に関するコンプライアンス教育及び研究活動における不正防止に関する研究倫理教育の実施について 6. 学生に対する研究倫理教育の実施について 7. 研究データの保存について 8. 海外の生物サンプルの取得や研究に関する対応(名古屋議定書締結への対応)について
	第4回	平成29年7月21日(金)	1. 研究費の不正使用防止に関するコンプライアンス教育及び研究活動における不正防止に関する研究倫理教育の実施について 2. 平成30年度戦略の進捗状況等に関する調書について 3. 平成28年度実績報告ヒアリングについて 4. 科研費若手研究の応募要件変更に伴う博士学位取得年月日の確認について
	第5回	平成29年9月26日(火)	1. 平成30年度戦略の進捗状況等に関する調書について 2. 平成30年度設備マスタープラン作成に関する研究設備提案及びアンケートについて 3. 海外の生物サンプルの取得や研究に関する対応(名古屋議定書締結への対応)について 4. 軍事的研究への対応について
	第6回	平成29年10月26日(木)	1. 平成30年度研究設備整備(設備マスタープラン)に関する審査について 2. 学生に対する研究倫理教育の実施について 3. 研究データ保存に関する取扱について 4. 機能強化経費(機能強化促進分)の配分について
	第7回	平成29年12月4日(月)	1. 宇都宮大学研究活動における不正行為に関する取扱規程の一部を改正する規程(案)等について
	第8回	平成30年1月17日(水)	1. 研究設備整備(設備マスタープラン)に関する審査について 2. 平成29年度国際学術誌への論文投稿支援に関する審査について 3. UU-COEの平成29年度成果報告及び平成30年度継続審査について 4. UU-COE-Nextの平成29年度成果報告及び平成30年度継続審査
	第9回	平成30年2月28日(水)	1. UU-COE-Nextの平成29年度成果報告及び平成30年度継続審査について 2. UU-COEの平成29年度成果報告及び平成30年度継続審査について
	第10回	平成30年3月8日(木)	1. UU-COEの平成29年度成果報告及び平成30年度継続審査について 2. 平成30年度異分野融合研究助成について 3. 平成30年度国際学術誌への論文投稿支援について
活動の記録 (実績・成果)		①平成30年度科研費申請についてはURA室を中心とする全学的な科研費プロジェクトにて対応することとなった。 ②宇都宮大学研究拠点創成ユニット(UU-COE)として2課題採択し、年度末に成果の検証を行った。その後、継続採択について審議を行い、2課題とも平成30年度のUU-COEとして採択することを承認した。 ③UU-COE-Nextについて、3課題採択し、年度末に成果の検証を行った。その後、継続採択について審議を行い、2課題とも平成30年度のUU-COEとして採択することを承認した。 ④異分野研究助成について公募を行い9件の助成を実施した。 ⑤国際学術誌への論文投稿支援について公募を行い13件を採択した。 ⑥研究用設備整備(設備マスタープラン)について本会議としての選考を行った。 ⑦研究費の不正使用防止に関するコンプライアンス教育及び研究活動における不正行為防止に関する研究倫理教育の実施について対応した。 ⑧宇都宮大学研究活動における不正行為に関する取扱規程の一部改正を行った。 ⑨学生に対する研究倫理教育の実施について対応した。 ⑩研究データ等の保存について対応した。 ⑪平成30年度に「異分野研究助成」及び「国際学術誌への論文投稿支援」を実施することとした。 ⑫海外の生物サンプルの取得や研究に関する対応について検討を行った。	